

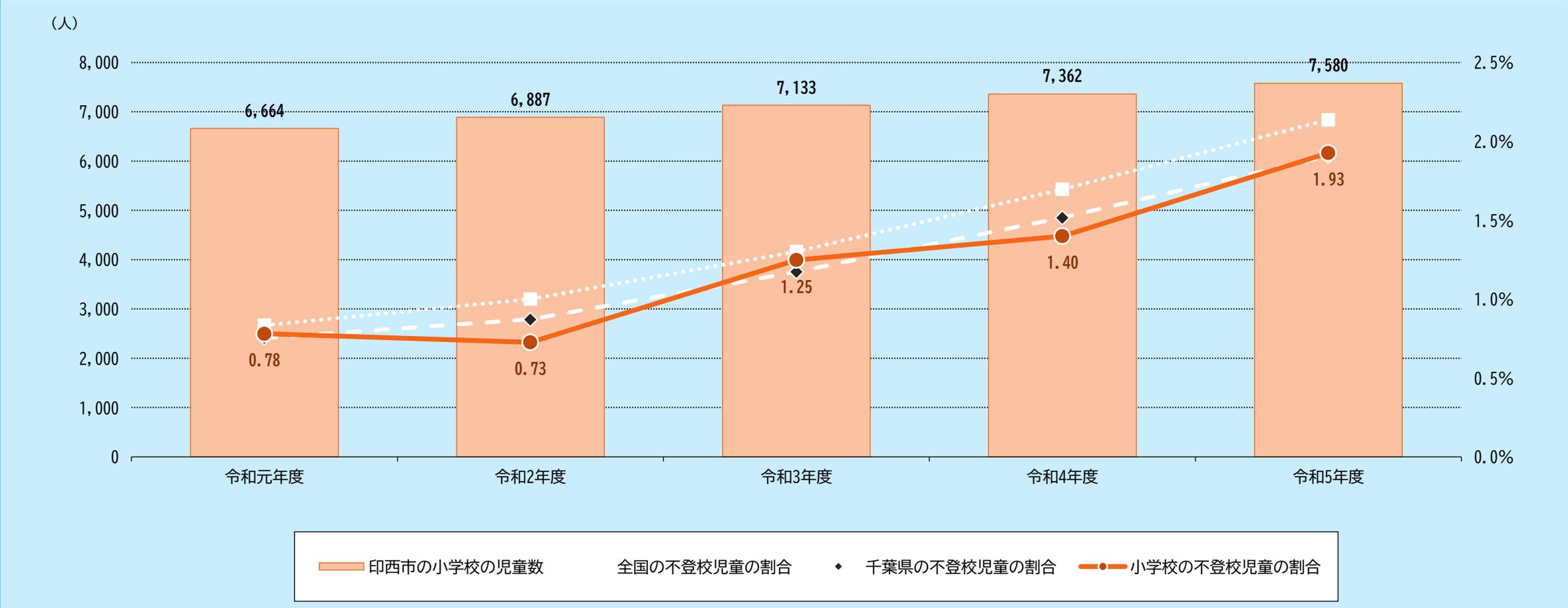
印西市における不登校児童生徒支援の現状について

印西市教育センター

印西市の不登校児童生徒数（小学校）の推移について

不登校の定義（印西市不登校児童生徒支援の充実に向けた基本方針 より）

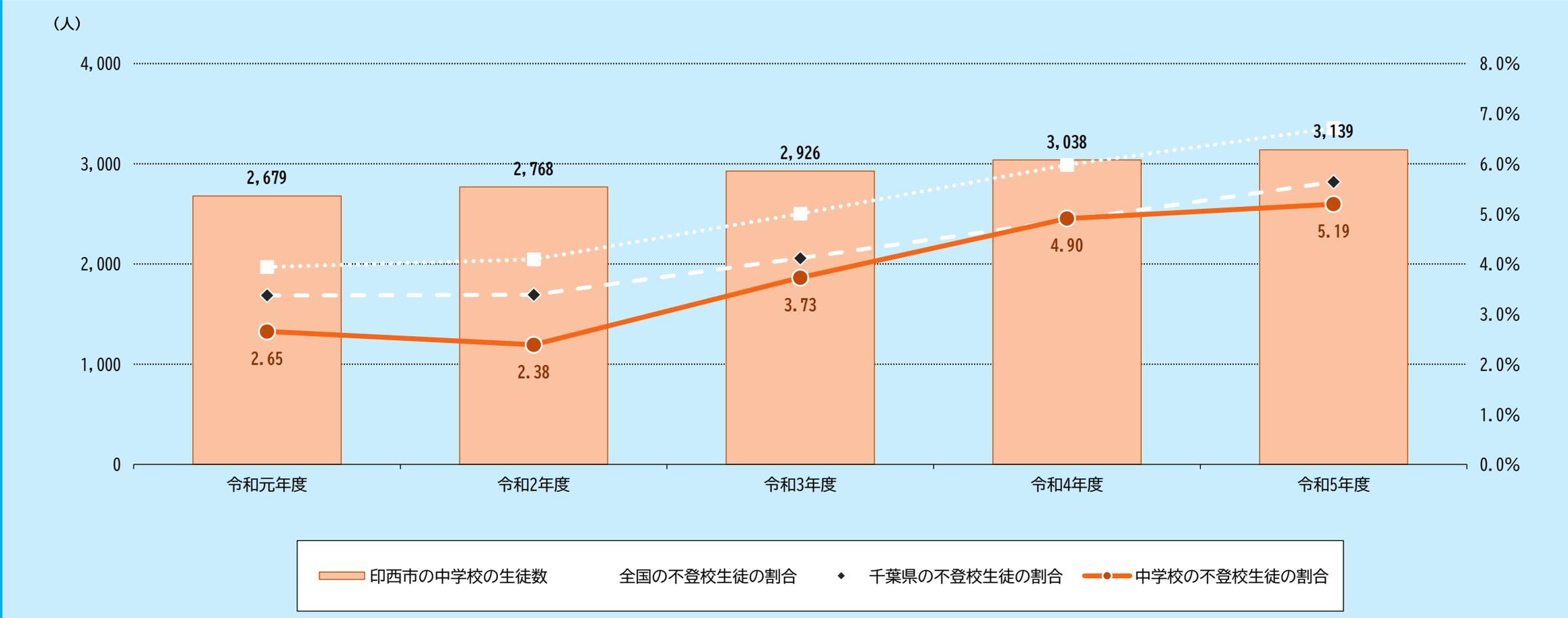
「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくてもできない状況にあるため年間30日以上欠席したもののうち、病気や経済的な理由によるものをのぞいたもの」



印西市の不登校児童生徒数（中学校）の推移について

不登校の定義（印西市不登校児童生徒支援の充実に向けた基本方針 より）

「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくてもできない状況にあるため年間30日以上欠席したもののうち、病気や経済的な理由によるものをのぞいたもの」



国の通達等から見た不登校児童生徒への対応

不登校は**どの子にも起こりうる**ことであり、その背景には多様で複合的な要因がある (令和3年3月「不登校児童生徒への支援の在り方について(通知)」より)

学習への不安 友人関係 家庭事情 いじめ 発達 等

学校に行けないことを問題行動としてではなく、子どもの心のサインとしてとらえる



登校を目的とせず、児童生徒が安心して過ごせる環境を整え、**学びの継続と社会的な自立を目指す**

印西市の不登校児童生徒支援の考え方と取りくみ

「登校することのみを目標とするのではなく、児童生徒に多様な学びの場を確保し、児童生徒の意思を尊重しつつ支援をすることとし、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて**社会的に自立できることを目指す**」

不登校児童生徒への具体的な支援策

印西市不登校登校児童生徒支援の充実に向けた基本方針 より

1 早期の兆候把握と早期支援

- (1) 児童生徒の心身の状態変化の把握
- (2) チーム学校による早期支援
- (3) コミュニティ・スクールの仕組みを活用した学校と保護者・地域との連携強化

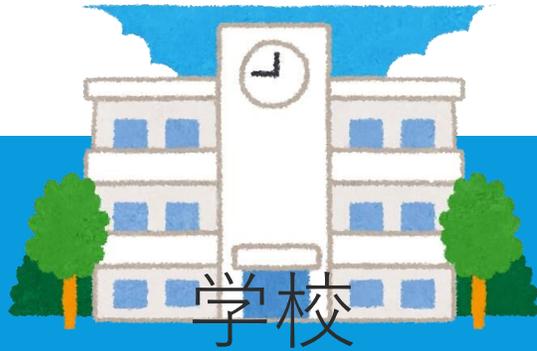
2 不登校児童生徒への支援の充実

- (1) 校内教育支援センターの整備
- (2) 教育支援センターにおける支援
- (3) 教育相談窓口の設置
- (4) ICTを活用した学習の支援
- (5) 訪問型支援による学習指導
- (6) 多様な学びの選択肢の充実

3 保護者サポート、関係機関や民間施設等との連携推進

- (1) 教育センターによる総合相談支援
- (2) 保護者へのサポート
- (3) 福祉や医療等の相談・支援機関と連携した支援
- (4) 民間施設等との連携推進
- (5) 民間施設等の運営者への補助

現在の印西市での学びの場



①校内教育支援センター
登校しての一人（可能であれば少人数）での学び。指導員との対話。

②エデュオプちば（小4～中3） ※市教委を通じて参加状況を学校が把握できます
県による一人一端末を利用した自宅での映像授業。

③一人一端末を利用した学校授業への参加
クラスルーム等を通じた自宅での授業参加。 ※一部の授業のみ
ミライシード等の学習アプリを使った自宅でのドリル学習等



④市教育支援センター（まきば）
指導員が対応。個別学習・指導員との対話、ゲーム、軽運動。

※訪問学習指導員（教育センター所属）による
自宅での対話・学習支援の実施。

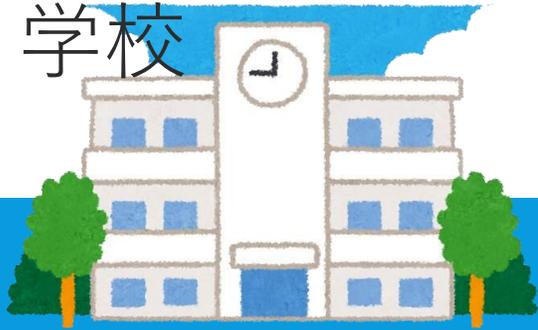


⑤フリースクール
体験活動を主とした、個に応じた学びの場。

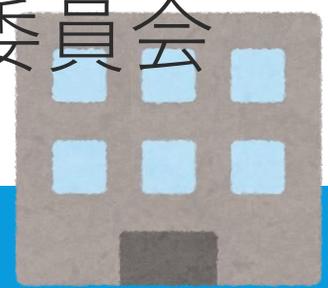
それでもカバーできない部分を補う、学びの場の可能性を探る必要性

印西市での支援のイメージ

学校



教育委員会



情報共有
相談・助言

- ①担任や管理職による相談対応
- ②校内支援会議などでの検討
- ③担任等による家庭訪問
丁寧な指導・学習支援
- ④S Cによる個別カウンセリング
- ⑤S SWの紹介
- ⑥校内教育支援センターの紹介
受け入れ
- ⑦市教育支援センターの紹介

教育センター

- ①電話や面談での相談対応
- ②心理士による個別カウンセリング
- ③市教育支援センターでの受け入れ
- ④定期的な保護者相談の実施
- ⑤不登校対応の核としての役割

指導課

- ①生徒指導面での相談
- ②発達面での相談

情報共有※

情報共有※

学びの場の提供

フリースクール等



今後の課題について

<家庭>



相談できる機関は？
今後の見通しは？
子どもの将来は？
助けてくれる人は？

<学校現場>

- 初期対応のための時間・人員の確保
 - ・登校できる児童生徒への担任対応は？
 - ・チームで対応するための校内での担当者は？
- 校内支援センターの人材確保
- 学びの場の整備
- 校内での研修実施
- 学校に時間がない（教員の疲弊） 等・・・

<教育委員会>

- 中長期的な支援の在り方
- 新たな学びの場をどう設けていくか
 - ・小学校の教育支援センターの増設
 - ・学びの多様化学校の検討
 - ・学校外の学びの場の確保
 - ・印西市ならではの特色を生かす
- フリースクール等との連携
 - ・連絡会の実施
 - ・財政面での支援
- 保護者への情報提供のあり方
- 教員の研修実施
- 不登校の未然防止策の提示
- 長期的な視点に立った、不登校対応ができる人材の育成・確保

等・・・

家庭・学校・行政・地域が協力して児童生徒を支援していく仕組みの構築